

京都市立芸術大学  
美術学部長 小山田 徹  
美術研究科長 礪波 恵昭  
(公印省略)

### 教員の公募について(依頼)

このたび、京都市立芸術大学美術学部・大学院美術研究科では、下記の要領において教員を公募いたします。

#### 記

#### 1 担当内容

陶磁器実技

- (1) 学部:『工藝基礎』、『陶磁器基礎A、B』、『陶磁器1～3』、『総合基礎実技』、『テーマ演習』
- (2) 大学院修士課程:『陶磁器研究1～4』、『特殊演習1～4』
- (3) 大学院博士(後期)課程:『研究領域研究指導』、『領域研究演習』、『総合制作・理論演習』、『造形計画論研究』  
など

#### 2 職名・人員

講師又は准教授 1名

#### 3 応募条件

- (1) 陶磁器について優れた業績と幅広い視野と専門知識を持ち、陶磁器の新たな価値を思考し実践する研究・教育を行える人
- (2) 陶磁器の基礎教育に加え、形態、色彩といった造形論の観点から論理的に研究・教育を行える人
- (3) 他専攻、国内外の機関と連携した研究・教育を行える人
- (4) 研究・教育のみならず、学内運営業務を積極的に行える人
- (5) 日本語で教育指導・運営業務が可能な人
- (6) ダイバーシティの推進に積極的に関われる人
- (7) 採用後、通勤可能な範囲に居住する人

#### 4 提出書類等

- (1) 提出物一覧表
- (2) 履歴書(押印・写真の貼付は必要ありません)
- (3) 最終学校の卒業又は修了証明書(写し可)
- (4) 業績目録
- (5) ポートフォリオなど、活動を示す資料、著書または論文の写し  
高い専門性(技術と論理)に裏付けられた代表作品5点を明記してください。
- (6) (5)の代表作品のうち1点について、作品制作のプロセスを構想から完成まで説明した資料(日本語でA4用紙2枚程度)
- (7) 応募条件(1)(2)(3)をふまえ、本学における陶磁器教育についての抱負を述べた文章(日本語でA4用紙1枚程度)
- (8) 日本国内からの応募の場合、ゆうパックや宅配便等の着払い用の送付状(届け先の欄に資料の返送を希望する住所・氏名・電話番号を記入のこと)

※提出書類等は、日本国内からの応募の場合は選考終了後に返却しますが、日本国外からの応募の場合は返却しません。

#### 5 面接

書類選考通過者には面接を実施します。(面接の旅費等は自己負担となります)

※状況によっては、インターネットを利用した面接になることもあります。

※日本国外に居住する応募者には、インターネットを利用した面接を行います。

#### 6 提出期限

令和4年11月17日(木)必着(書留又は宅配便など、配達確認可能な方法。持参は不可)

#### 7 採用予定日

令和6年4月1日(内定は、令和5年3月中旬頃を予定しています)

#### 8 書類提出先

〒610-1197京都市西京区大枝沓掛町13-6

京都市立芸術大学 美術学部長宛(封筒等の表に「陶磁器実技教員応募」と朱書のこと)

※新型コロナウイルス感染症の影響により国際郵便等の送付が困難な場合は以下に相談すること

#### 9 問合せ先

京都市立芸術大学事務局教務学生課(美術教務担当)

電話075-334-2220 E-mail: fineart\*kcua.ac.jp (\*を@に変えてください)

## 10 その他

- (1) 本学部・研究科では、男女共同参画社会基本法の主旨に則り、教員の多様性の確保が必要と考え、「専任教員採用人事における女性教員採用にかかるポリシー」（下記URL参照）を作成し、これに沿った採用人事を行なっています。

<https://www.kcua.ac.jp/wp-content/uploads/3d2243c8ecfa24f0414f1625adaba13d.pdf>

今回の公募は、応募者の性別を限定するものではなく、採用候補者選定のための調査・評価の過程において性別は考慮いたしません。ただし評価が同等と認められた場合には、女性を採用することとします。

- (2) 提出書類等は採用事務にのみ使用し、その他に使用することはありません。
- (3) 採否の結果については、文書又はメールで応募者に通知します。
- (4) 本学の情報は、ホームページ (<https://www.kcua.ac.jp/>) を御覧ください。